



古河赤十字病院

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

訪問看護ステーションゆきはなOPEN

日赤創立150周年記念ハートラちゃんと
茨城県のご当地ハートラちゃんが決定！

ゆ
き
は
な

新院長・副院長からみなさまへ

2026 Spring

Vol. 57

広報誌



表紙：新院長・副院長（メッセージはP.3～4に掲載）

日本赤十字社は2027年に150周年。





訪問看護ステーションゆきはなOPEN



4月にオープンした訪問看護ステーションでは、古河赤十字病院の医師との連携はもちろん、必要に応じて、認定看護師や特定行為看護師など専門性の高い看護師の看護を受けることができます。

病院の地域包括ケア病棟と連携し、在宅介護をしている方が一時的に休息を取るための「レスパイト入院」にも対応できます。

4月20日（月）には、来賓に針谷古河市長、秋葉古河市医師会長、野田古河保健所長、渡邊茨城県介護専門員協会古河地区会長の御臨席を賜り、開所式を執り行いました。地域の皆さまのお役に立てるよう、職員一同、励んでまいります。



まずは一度、主治医やケアマネジャーさんへご相談ください

- ① 主治医やケアマネジャーさんに相談いただくと……
- ↓
- ② 主治医やケアマネジャーさんから当ステーションに連絡が来ます
- ↓
- ③ 主治医が訪問看護指示書を作成（医療保険・介護保険）、ケアマネジャーさんがケアプランを作成します（介護保険）
- ↪
- ④ 状態確認・サービス説明・契約をして……
- ↓
- ⑤ 利用開始となります

ホームページは
こちらから⇒



日赤創立150周年記念ハートラちゃんと 茨城県のご当地ハートラちゃんが決定！



創立150周年記念ハートラちゃん



茨城県のご当地ハートラちゃん
「ネモフィラハートラちゃん」

日本赤十字社は2027年に創立150周年を迎えます。これを記念して、150周年を記念したハートラちゃんと、各都道府県の「ご当地ハートラちゃん」ができました！

茨城県では、当院を始めとする県内の日赤施設に勤める職員からアイデアを募り、各施設の広報担当者による選考・投票で決定しました。

名前は「ネモフィラハートラちゃん」。乳児院の職員による発案です。

そもそも、日本赤十字社公式キャラクター「ハートラちゃん」とは？



誕生日：5月8日（世界赤十字デー）

性格：苦しんでいる人を放っておけない

おだやかな性格だが、時にすばらしい行動力を発揮する

目標：ひとりでも多くの「苦しんでいる人」を救うこと

特技：語学（世界中の人、動物、植物と話せる）

トレードマーク：生まれつきおでこにある赤い十字の模様

好きなこと：風船ブランコに乗って空をお散歩すること

好きな食べもの：ハート形のさくらんぼ

茨城県以外の関東1都6県のご当地ハートラちゃんたち。どこのハートラちゃんか分かるかな？



新院長・副院長からみなさまへ



坂野副院長・心臓血管外科部長

横田院長

佐伯副院長・看護部長



横田 英典 院長

1962年生まれ。旭川医科大学卒業。2016年より当院脳神経外科部長。好きなことは釣り。

4月より院長に就任した横田英典です。

「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は、敵味方の別なく救われなければならない」という「人道」こそが赤十字の基本原則であり、以下の6つの原則「公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性」は「人道」の原則を実現するために必要となるものです、と日本赤十字社のホームページに記されております。

当院は昭和27年に日本赤十字社茨城県支部猿島診療所として開設され、前述の赤十字の理念のもと、70年の永きにわたり地域の皆さまのご協力を頂きながら、安心で安全な医療を実践すべく努力を重ねてまいりました。

昨今、急速に進む少子高齢化や激しく変動する世界情勢等により医療を取り巻く環境は大きく変化し、求められる役割もますます多様化しております。救急医療、在宅医療、地域連携の推進、さらには災害医療など、私たちが果たすべき責務は広がりとしさを増し複雑になりつつあります。しかし、どのような状況下にあっても、患者さま一人ひとりに寄り添い、ぬくもりのある最善の医療を提供するという基本姿勢はゆるぎないものでなければなりません。

今後も、地域の医療施設や行政機関など多くの皆さまと連携を強化し、より質の高い医療をご提供できるよう、職員一同、一層の研鑽を重ねてまいります。今後ともご支援、ご指導そしてご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

院長 横田 英典



坂野 康人 副院長 心臓血管外科部長

1971年生まれ。札幌医科大学卒業。2015年より当院心臓血管外科部長。

好きなことは音楽を聴くこと、旅行、歴史の本を読むこと。

4月より副院長を拝命いたしました。これまで心臓血管外科部長、院長補佐として当院の診療および運営に携わってまいりましたが、今後は副院長として、より一層地域医療の発展と病院機能の向上に尽力してまいります。

私は大学卒業後、自治医科大学心臓血管外科、東京都健康長寿医療センターなどで研鑽を積んでまいりました。2014年に当院に赴任し、心臓血管外科診療の充実に努めるとともに、医療安全推進室長、医療社会事業部長、薬剤部長として院内の多職種連携や安全文化の醸成にも取り組んでおります。また、日本赤十字社および茨城県の災害医療コーディネーター、日本DMATの統括DMAT隊員として、災害医療体制の整備にも関わっております。

医療を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、地域の皆さまに安心して医療を受けていただける体制を維持・発展させることが私たちの使命です。職員一同とともに力を合わせ、質の高い医療の提供に努めてまいりますので、今後ともご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

副院長 坂野 康人



佐伯 久美 副院長

1968年生まれ。水戸赤十字看護専門学校、日本女子大学、国際医療福祉大学大学院卒業。2019年より当院看護部長。

好きなことは城めぐり、映画鑑賞など。

近隣の医療機関、介護福祉施設の皆さま、そして地域にお住まいの皆さまには、日頃より古河赤十字病院の医療活動ならびに災害活動にご理解とご支援ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、この4月より、これまで務めてまいりました看護部長に加え、副院長を拝命することとなりました。大変身の引き締まる思いでありますが、皆さまに支えていただきながら、一步一步取り組んでまいりたいと考えております。

当院は赤十字の人道の下、地域の中で、思いやりのあるやさしい病院でありたいとの思いを大切に、日々の医療に取り組んでまいりました。これまで培ってきた医療・看護の経験を生かし、医療機関や介護福祉施設の皆さまと力を合わせながら、患者さんやご家族、地域の皆さまにとって安心できる医療と看護をお届けできるよう努めてまいります。4月には訪問看護ステーションを開設しました。地域医療の更なる充実に尽力してまいりたいと考えております。

今後とも、変わらぬご助言とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、地域の一員として皆さまのお役に立てる病院であり続けたいと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

副院長・看護部長 佐伯 久美

古河日赤 information

速報！病院まつり(仮名称)の開催決定！
令和8年10月18日(日)に行います。続報をお待ちください。

6月・7月のFM栃木『教えてドクター』に職員が出演します

FM栃木 (RADIO BERRY) で毎週水曜11:30から放送の『教えてドクター』に、当院の職員が出演します。6月は新院長と副院長、院長補佐が出演予定です。7月の放送も鋭意調整中！

生放送のほか、RadikoやSpotify、Amazon Musicなどのポッドキャストからもお聞きいただけます。

放送日 (予定)

6月3日、10日、17日、24日 いずれも11:30~11:40



看護の日イベントを実施しました



5月13日(水)、毎年恒例の「看護の日イベント」を行いました。今年は、例年同様の血圧測定や栄養相談、おくすり相談に加え、訪問看護ステーションの相談ブースを設置したほか、認知症や嚥下など、当院の認定看護師に関連したクイズラリーなども行いました。中でも「ゲーム感覚でお口の筋肉を動かそう！」と題したコーナーでは、摂食・嚥下認定看護師と参加者が一緒に、「鉛筆乗せ」などの体操で口周りの筋肉を楽しく鍛えました。

※毎年5月12日は、近代看護の礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、看護の日と定められています。看護の日を含む日曜日から土曜日までの1週間は看護週間とされ、各地でさまざまなイベントが行われます

新しい基本方針

- 日本赤十字社の人道・博愛の精神を基本とします。
- 災害時の医療救護活動に積極的に参加します。
- 地域の皆さまの健康と医療を支え、地域社会に安心と安全を提供します。
- 関係機関と連携し、切れ目のない医療と地域での安心な暮らしを支えます。
- 健全経営を目指します。

院内の意見箱へご意見・ご感想をお寄せください

院内の意見箱へ、広報誌を読んだみなさんのご意見・ご感想をお寄せください。「この号のこの記事が面白かった・ためになった」「こんな内容を読みたい」など、なんでもかまいません。たくさんの声をお待ちしております。

※お電話では承りかねます。ご了承のほどお願いいたします。

【発行】古河赤十字病院

〒306-0014 茨城県古河市下山町 1150 番地 TEL (代表) 0280-23-7111 / FAX (代表) 0280-23-7120

ホームページ <https://www.koga.jrc.or.jp> 休院日：土曜、日曜、祝日 11/1（創立記念日）、12/29～1/3（年末年始）